

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年10月5日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	36週	37週	38週	39週	警報レベル	注意レベル	
	9月4日～9月10日	9月11日～9月17日	9月18日～9月24日	9月25日～10月1日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	0	15	4	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	71	47	22	19	-	-	-
	23.67	15.67	7.33	6.33			
RSウイルス感染症	0	0	1	2	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0	0	0	8	4	-
	0.50	-	-	-			
感染性胃腸炎	6	5	6	7	20	12	-
	3.00	2.50	3.00	3.50			
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	3	3	2	2	5	2	-
	1.50	1.50	1.00	1.00			
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	1	1	1	6	2	-
	0.50	0.50	0.50	0.50			
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
	-	-	-	-			
眼科定点	急性出血性結膜炎				1	0.1	-
	流行性角結膜炎				8	4	-
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				-	-	-
	無菌性髄膜炎				-	-	-
	マイコプラズマ肺炎				-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				-	-	-
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)				0	-	-
	川崎病				0	-	-
	不明発疹症				0	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	-	-
備考	手足口病		

### \*「1.発生動向」の解釈について

・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数  
 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数  
 ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

新型コロナウイルス感染症の確保病床について、令和5年10月から国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。それに伴い、今週分から表記を変更しました。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	0	10/4～10/10	119人
前週	0	10/1～10/3	191人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

## 4. 栗原支所より

### 【全数報告疾病】

3類:腸管出血性大腸菌感染症

男性1名 ※全数報告疾病 すべての医師から届け出が必要な疾病

### 【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザは前週より減少しています。
- ・新型コロナウイルス感染症は前週より減少しています。
- ・感染性胃腸炎は前週より増加しています。

### 【集団発生情報】

保育所において、手足口病の集団発生がありました。PPE等の必要物品の在庫確認・補充、平時からの感染対策(手洗い、手指消毒、換気、PPE着用等)について再確認しましょう。

### 【感染症コラム～B型肝炎～】

- ・B型肝炎はB型肝炎ウイルスが血液などの体液を介して体内に入り、肝臓に感染する疾患です。
- ・出生時または乳幼児期に感染した場合は持続感染となります。ウイルスに対する抵抗力をもつことで肝炎を発症し、最終的に肝機能正常の無症候性キャリアへ移行します。
- ・成人になってからの感染では、持続感染となることはまれです。
- ・予防は感染経路を遮断することです。他人の血液には触れない事が重要ですが、ワクチン接種も有効です。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 📠0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>